

# 景況レポート

## No.135

2021年4月～6月期



# 北見しんきん

〒090-8711 北見市大通東1丁目2番地1

電話(代) 0157-66-3111

URL: <http://www.shinkin.co.jp/kitami/>

本レポートはホームページでもご覧になれます。

## 景気動向

### 道内景気

日本銀行札幌支店が7月1日に発表した6月の企業短期経済観測調査結果(短観)によりますと、道内企業の景況感を示す業況判断指数(DI:「良い」と答えた企業の割合から「悪い」と答えた企業の割合を引いた値)は全産業で▲6となり、前回の調査『▲11』から改善しました。内訳では、製造業(前回▲9→今回3)、非製造業(前回▲11→今回▲10)ともに改善しました。2021年9月までの全産業での先行き予測は▲9と、悪化の見通しです。

また、7月1日に発表された道内の金融経済概況は次の通りです。道内の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響から引き続き厳しい状態にあり、横ばい圏内の動きとなっている。個人消費は、引き続き低い水準となっており、横ばい圏内の動きとなっている。観光は、引き続き厳しい状況にあり、弱い動きとなっている。設備投資は下げ止まっている。公共投資は高水準で推移している。輸出は持ち直しつつある。住宅投資は緩やかに持ち直している。生産は持ち直している。雇用・所得情勢をみると、労働需給、雇用者所得ともに弱めの動きがみられている。

- ・ 公共工事の発注の動きを示す公共工事請負金額は、高水準で推移している。
- ・ 個人消費では、スーパー、ドラッグストア、家電販売は、底堅い動きとなっている。乗用車販売は、持ち直しが一服している。コンビニエンスストアは、やや低い水準で推移している。百貨店は、低い水準で推移している。サービス消費は、引き続き低い水準にあり、弱い動きとなっている。
- ・ 観光は、引き続き厳しい状況にあり、弱い動きとなっている。
- ・ 新設住宅着工戸数をみると、持家は持ち直している。貸家は低水準で推移している。分譲は高めの水準で推移している。
- ・ 生産(鉱工業生産)は、主要業種別にみると、電気機械などでは持ち直している。輸送機械では持ち直しのペースが鈍化している。食料品では、一部に弱めの動きがみられるものの、横ばい圏内の動きとなっている。紙・パルプでは低水準で推移している。
- ・ 雇用・所得情勢をみると、労働需給、雇用者所得ともに弱めの動きがみられている。
- ・ 消費者物価(除く生鮮食品)は、概ね前年並みとなっている。
- ・ 企業倒産は、低水準で推移している。

### 地区内景気

今回の当金庫の景気動向調査による北見地区の景況は、前年同期と比較したDI値は、売上高が▲26と14ポイントの改善、収益も▲32と7ポイントの改善でした。直前3ヵ月と比較した今後3ヵ月の見通しでは、売上DI値は▲14と改善、収益DI値は▲18と悪化の見通しとなっています。

## 特別調査 【中小企業の事業継続について】

新型コロナ感染拡大の長期化は、中小企業の経営に甚大な影響を及ぼしています。一部の企業では、これまでの経営環境の厳しさも踏まえ、廃業を検討するケースも出てきています。また、事業継続へ向けての常日頃の備え（業務継続計画…BCPを含む）は、コロナのみならず、災害時に事業を継続していくために必須です。そこで今回は、中小企業の事業継続について調査しました。

### 【事業継続に向けての感触】

「やや危機を感じている」が45.8%と最も高く、以下「あまり危機を感じていない」（27.1%）、「強く危機を感じている」（19.9%）が続きました。「強く危機を感じている」と「やや危機を感じている」を合計すると、65.7%が危機を感じているとの結果になりました。

### 【事業継続を困難化させるものとして重視するリスク】

「従業員の参集不能」が25.4%と最も高く、以下「仕入や調達の困難化」（19.3%）、「物流の停止」（18.2%）が続きました。また、「特にリスクは意識していない」は35.9%となりました。

### 【災害に備えて取っている対策】

「損害保険への加入」が48.1%と最も高く、以下「社内の連絡体制の整備」（26.5%）、「技術や情報のバックアップ」（18.2%）が続きました。対して、「特に対策は取っていない」は30.9%となりました。

### 【BCPの作成状況】

「作成している（予定を含む）」の合計は16.9%、「作成していない」の合計は83.1%となりました。

作成のきっかけとしては、「業界団体からの薦め」が6.2%と最も高く、作成していない理由としては、「BCPについてよくわからない」が31.5%と最も高くなりました。

### 【常日頃から頼りにしている相談先】

「金融機関」、「税理士・公認会計士」が44.2%と最も高く、以下「商工会・商工会議所」（17.7%）、「業界団体・同業他社」（17.1%）が続きました。対して、「特にない」は27.1%となりました。

【貴社は、現下の状況を受けて、事業継続についてどう感じていますか。次の1～5の中からお答えください。また、貴社の業歴について、6～0の中からお答えください。】

事業継続	《全国》	
1. 強く危機を感じている	19.9%	12.5%
2. やや危機を感じている	45.8%	44.0%
3. あまり危機を感じていない	27.1%	36.6%
4. 全く危機を感じていない	4.4%	4.8%
5. むしろ好機と感じている	2.8%	2.1%

貴社の業歴	《全国》	
6. 10年未満	8.3%	3.9%
7. 10年以上30年未満	14.4%	23.1%
8. 30年以上50年未満	32.6%	35.1%
9. 50年以上100年未満	42.0%	33.8%
0. 100年以上	2.7%	4.1%

【貴社では、事業継続を困難化させる要因について、どのようなリスクを重視していますか。最も当てはまるものを、1～9の中から最大3つまで選んでお答えください。なお、特にないという方は0を選択下さい。】

	《全国》	
1. 事業所の使用不能	10.5%	9.5%
2. 経営者の離脱	17.7%	18.0%
3. 仕入や調達の困難化	19.3%	26.5%
4. 社内の不正行為	0.6%	1.5%
5. インフラ（電気・水道・通信等）の障害	4.4%	6.2%
6. 物流の停止	18.2%	20.1%
7. 従業員の参集不能	25.4%	17.8%
8. 販売先の倒産	12.2%	17.6%
9. 社内設備やシステムの故障	9.9%	11.6%
0. 特にリスクは意識していない	35.9%	28.0%

【貴社では、災害に備え、どのような対策を取っていますか。最も当てはまるものを、1～9の中から最大3つまで選んでお答えください。なお、特にないという方は0を選択下さい。】

	《全国》	
1. 建物や設備の耐震化	7.2%	13.5%
2. 技術や情報のバックアップ	18.2%	20.0%
3. 社内の連絡体制の整備	26.5%	27.0%
4. 損害保険への加入	48.1%	37.2%
5. 必要な資金の確保	10.5%	20.1%
6. 取引先との事前の協議	8.3%	9.1%
7. 原材料等の代替調達先確保	3.9%	6.0%
8. 自然災害を想定した訓練	3.9%	4.8%
9. その他	1.7%	0.6%
0. 特に対策は取っていない	30.9%	25.9%

【感染症や災害などの緊急時における業務の早期復旧のために、「事業継続計画（BCP）」の作成が有効とされています。貴社が事業継続計画（BCP）を作成（予定を含みます）している場合は、そのきっかけについて下記の1～6の中から、また、作成していない場合は現在の状況について7～0の中から、1つ選んでお答えください。】

【BCPを作成（予定）している】	《全国》	
実施のきっかけ		
1. 行政からの薦め	4.5%	3.3%
2. 業界団体からの薦め	6.2%	4.2%
3. 取引先からの要求	1.7%	2.5%
4. 他社が災害・被害を受けた	0.6%	1.0%
5. 自社が災害・被害にあった	0.0%	1.1%
6. その他	3.9%	3.5%

【BCPを作成していない】	《全国》	
現在の状況		
7. 日常業務が忙しくて余裕がない	21.9%	23.5%
8. 作成のための人材がない	6.7%	9.3%
9. BCPについてよくわからない	31.5%	31.1%
0. 当社には必要ない	23.0%	20.3%

【貴社では、事業継続にあたって、常日頃から頼りにしている相談先はありますか。最も当てはまるものを、以下の1～9の中から最大3つまでお答え下さい。なお、特にないという方は0を選択下さい。】

	《全国》	
1. 地方自治体	7.7%	4.4%
2. 商工会・商工会議所	17.7%	14.3%
3. 業界団体・同業他社	17.1%	15.3%
4. 取引先	8.3%	13.6%
5. 警察署・消防署	0.0%	0.4%
6. 金融機関	44.2%	55.5%
7. 税理士・公認会計士	44.2%	57.4%
8. 弁護士	2.8%	3.5%
9. 診断士等コンサルタント	5.5%	5.1%
0. 特にない	27.1%	14.1%

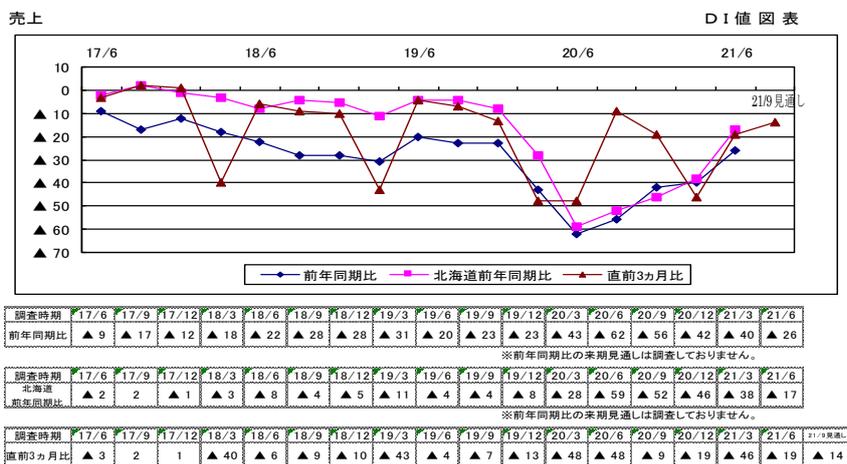
売上

調査対象先企業 181 社の売上を総体的にみますと、前年同期（20 年 4～6 月）と比較して「増加」した先 22%、「変わらず」の先 30%、「減少」した先 48%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲26 となり、前回調査より 14 ポイント改善しました。

業種別で見ますと、製造業・卸売業・小売業・サービス業は改善、建設業は悪化となっています。

3 カ月毎の比較では改善、今後 3 カ月についても改善の見込みです。

グラフに掲載している北海道の「前年同期比」のデータは、本調査と同時に全道の信用金庫によるお取引先を対象とした調査結果のもので、1 ページ目の日銀短観とは別の調査によるものです。



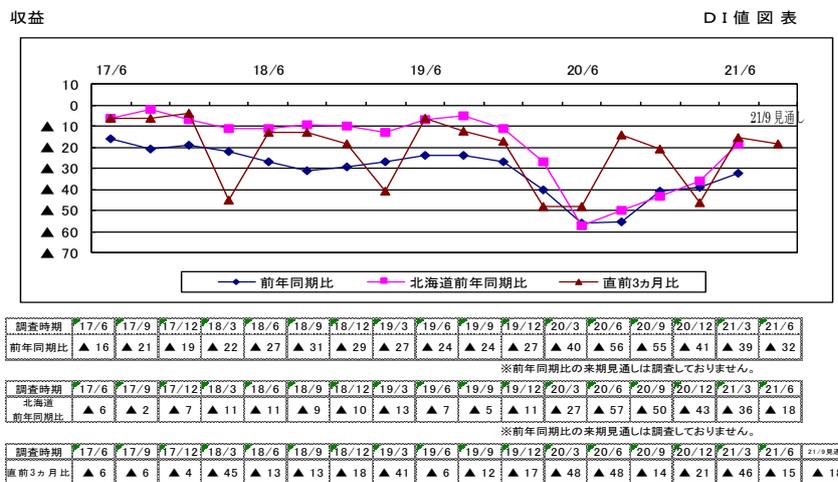
収益

調査対象先企業 181 社の収益を総体的にみますと、前年同期（20 年 4～6 月）と比較して「増加」した先 17%、「変わらず」の先 34%、「減少」した先 49%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲32 となり、前回調査より 7 ポイント改善しました。

業種別で見ますと、製造業・卸売業・サービス業は改善、小売業・建設業は悪化となっています。

3 カ月毎の比較では改善、今後 3 カ月は悪化の見込みです。

グラフに掲載している北海道の「前年同期比」のデータは、本調査と同時に全道の信用金庫によるお取引先を対象とした調査結果のもので、1 ページ目の日銀短観とは別の調査によるものです。



## 概況

調査先製造業全体の業況を前年同期（20年4～6月）と比較してみますと、売上で「増加」した先42%、「変わらず」の先22%、「減少」した先36%で、そのD I値（増加割合－減少割合）は6となり、前回調査より45ポイント改善しました。

収益は「増加」した先32%、「変わらず」の先30%、「減少」した先38%で、そのD I値（増加割合－減少割合）は▲6となり、前回調査より33ポイント改善しました。

調査回答数（前年同期比）

		増加	変わらず	減少	D I 値
売上	前回(21/3)	5	9	17	▲39
	今回(21/6)	13	7	11	6
収益	前回(21/3)	4	11	16	▲39
	今回(21/6)	10	9	12	▲6

## 動向

### 【前年同期との比較】

売上・収益ともに大きく改善しました。

内訳をみますと、すべての業種で売上が改善しています。

### 【直前3ヵ月との比較】

売上・収益ともに改善しました。

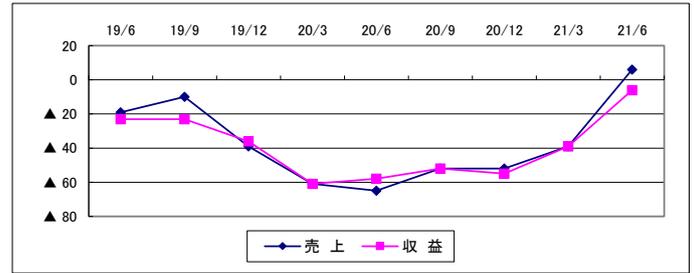
### 【今後3ヵ月の見通し】

売上・収益ともに悪化の見通しです。

調査員のコメントには、「ウッドショックによる資材の高騰が深刻化しており、今後の影響が心配」、「コロナの影響により展示会等を自粛してきたが、その悪影響がしだいに表面化すると予想される」といったものがありました。

前年同期比

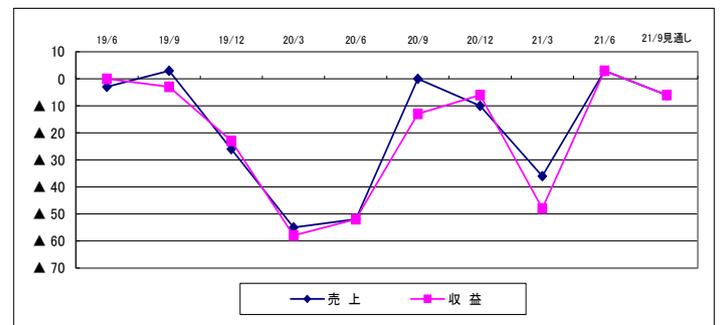
DI値図表



調査時期	19/6	19/9	19/12	20/3	20/6	20/9	20/12	21/3	21/6
売上	▲19	▲10	▲39	▲61	▲65	▲52	▲52	▲39	6
収益	▲23	▲23	▲36	▲61	▲58	▲52	▲55	▲39	▲6

直前3ヵ月比

DI値図表



調査時期	19/6	19/9	19/12	20/3	20/6	20/9	20/12	21/3	21/6	21/9見通し
売上	▲3	3	▲26	▲55	▲52	0	▲10	▲36	3	▲6
収益	0	▲3	▲23	▲58	▲52	▲13	▲6	▲48	3	▲6

直前3ヵ月比調査の業種別状況(DI値による) (%)

項目	業種別状況(DI値による) (%)					
	全体	食料品	木材製品	建設関連	その他	
売上額	1月～3月と比較	3	▲29	50	▲14	▲14
	7月～9月の見通し	▲6	0	20	▲15	▲43
収益	1月～3月と比較	3	▲14	40	▲14	▲14
	7月～9月の見通し	▲6	0	10	▲14	▲29
販売価格	1月～3月と比較	16	14	20	29	0
	7月～9月の見通し	10	0	20	14	0
原材料 価格	1月～3月と比較	52	43	60	71	29
	7月～9月の見通し	42	43	70	29	14
原材料 在庫	1月～3月と比較	▲3	14	▲30	0	14
	7月～9月の見通し	▲10	0	▲30	▲14	14
資金繰	1月～3月と比較	▲3	0	▲10	0	0
	7月～9月の見通し	▲7	0	▲10	0	▲15

## 概況

調査先卸売業全体の業況を前年同期（20年4～6月）と比較してみますと、売上で「増加」した先23%、「変らず」の先36%、「減少」した先41%で、そのDI値（増加割合－減少割合）は▲18となり、前回調査より32ポイント改善しました。

収益は「増加」した先14%、「変らず」の先45%、「減少」した先41%で、そのDI値（増加割合－減少割合）は▲27となり、前回調査より23ポイント改善しました。

販売価格は「増加」した先27%、「変らず」の先69%、「減少」した先4%で、そのDI値（増加割合－減少割合）は23となり、前回調査より14ポイント上昇しました。

## 調査回答数（前年同期比）

		増加	変らず	減少	DI値
売上	前回(21/3)	4	3	15	▲50
	今回(21/6)	5	8	9	▲18
収益	前回(21/3)	3	5	14	▲50
	今回(21/6)	3	10	9	▲27
販売価格	前回(21/3)	5	14	3	9
	今回(21/6)	6	15	1	23

## 動向

## 【前年同期との比較】

売上・収益ともに改善し、販売価格は上昇しました。内訳をみますと、全般的に改善しています。

## 【直前3ヵ月との比較】

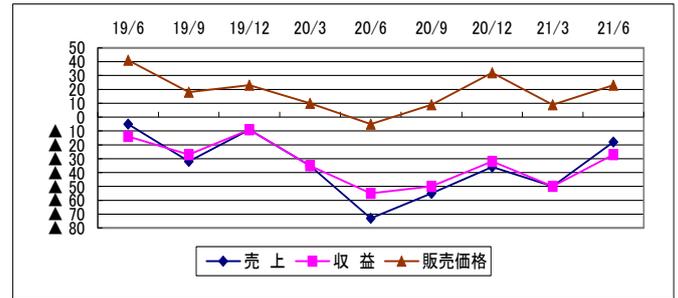
売上・収益ともに改善し、販売価格は横ばいとなりました。

## 【今後3ヵ月の見通し】

売上・収益ともに改善し、販売価格は上昇する見通しです。

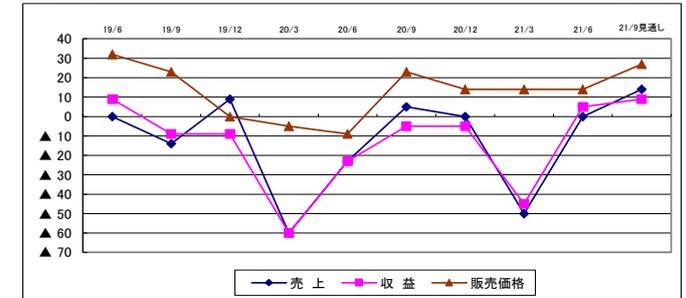
調査員のコメントには、「同業者間の競争は激しさを増しており、仕入先からの値上げ要請もある中、厳しい環境下での営業を強いられている」「取引先の飲食店がコロナの影響を大きく受けており、売上が減少している」といったものがありました。

前年同期比 DI値図表



調査時期	19/6	19/9	19/12	20/3	20/6	20/9	20/12	21/3	21/6
売上	▲5	▲32	▲9	▲35	▲73	▲55	▲36	▲50	▲18
収益	▲14	▲27	▲9	▲35	▲55	▲50	▲32	▲50	▲27
販売価格	41	18	23	10	▲5	9	32	9	23

直前3ヵ月比 DI値図表



調査時期	19/6	19/9	19/12	20/3	20/6	20/9	20/12	21/3	21/6	21/9見通し
売上	0	▲14	9	▲60	▲23	5	0	▲50	0	14
収益	9	▲9	▲9	▲60	▲23	▲5	▲5	▲45	5	9
販売価格	32	23	0	▲5	▲9	23	14	14	14	27

直前3ヵ月比調査の業種別状況(DI値による) (%)

項目		全体	食料品	建設関連	その他
売上額	1月～3月と比較	0	▲43	50	▲14
	7月～9月の見通し	14	▲29	88	▲29
収益	1月～3月と比較	5	▲29	50	▲14
	7月～9月の見通し	9	▲43	88	▲29
販売価格	1月～3月と比較	14	0	50	▲14
	7月～9月の見通し	27	14	50	14
仕入価格	1月～3月と比較	36	29	75	0
	7月～9月の見通し	32	29	38	29
在庫	1月～3月と比較	18	29	25	0
	7月～9月の見通し	9	29	13	▲14
資金繰	1月～3月と比較	5	▲14	25	0
	7月～9月の見通し	▲5	▲14	0	0

## 概況

調査先小売業全体の業況を前年同期（20年4～6月）と比較してみると、売上で「増加」した先22%、「変らず」の先22%、「減少」した先56%で、そのD I値（増加割合－減少割合）は▲34となり、前回調査より5ポイント改善しました。

収益は「増加」した先17%、「変らず」の先25%、「減少」した先58%で、そのD I値（増加割合－減少割合）は▲41となり、前回調査より2ポイント悪化しました。

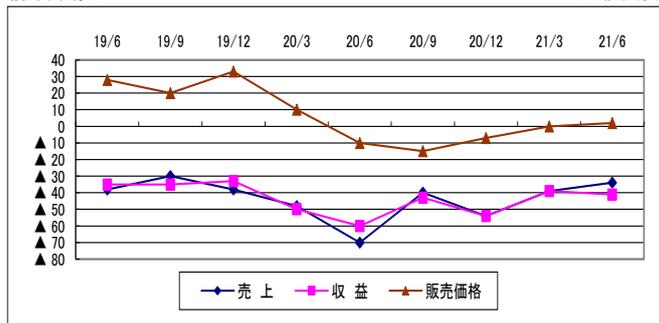
販売価格は「増加」した先14%、「変らず」の先74%、「減少」した先12%で、そのD I値（増加割合－減少割合）は2となり、前回調査より2ポイント上昇しました。

調査回答数（前年同期比）

		増加	変らず	減少	D I 値
売上	前回(21/3)	8	9	24	▲39
	今回(21/6)	9	9	23	▲34
収益	前回(21/3)	8	9	24	▲39
	今回(21/6)	7	10	24	▲41
販売価格	前回(21/3)	4	33	4	0
	今回(21/6)	6	30	5	2

前年同期比

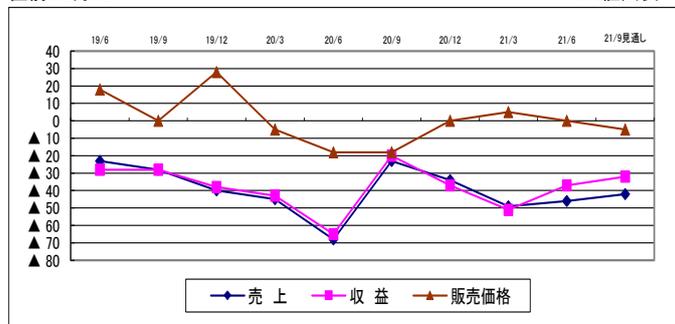
D I 値図表



調査時期	19/6	19/9	19/12	20/3	20/6	20/9	20/12	21/3	21/6
売上	▲38	▲30	▲38	▲48	▲70	▲40	▲54	▲39	▲34
収益	▲35	▲35	▲33	▲50	▲60	▲43	▲54	▲39	▲41
販売価格	28	20	33	10	▲10	▲15	▲7	0	2

直前3ヵ月比

D I 値図表



調査時期	19/6	19/9	19/12	20/3	20/6	20/9	20/12	21/3	21/6	21/9見通し
売上	▲23	▲28	▲40	▲45	▲68	▲23	▲34	▲49	▲46	▲42
収益	▲28	▲28	▲38	▲43	▲65	▲20	▲37	▲51	▲37	▲32
販売価格	18	0	28	▲5	▲18	▲18	0	5	0	▲5

## 動向

### 【前年同期との比較】

売上は改善、収益は悪化し、販売価格は上昇しました。  
内訳をみますと、衣料品が悪化しています。

### 【直前3ヵ月との比較】

売上・収益ともに改善し、販売価格は下降しました。

### 【今後3ヵ月の見通し】

売上・収益ともに改善し、販売価格は下降する見通しです。

調査員のコメントには、「コロナの影響による巣ごもり需要を期待したものの、大型量販店との競合により売上高は減少傾向」、「外出自粛の風潮が広がりを見せ、外行き用の衣類の購入意欲が低下しているため、売上が減少している」といったものがありました。

直前3ヵ月比調査の業種別状況(DI値による) (%)

項目		全体	衣料品	食料品	その他
売上額	1月～3月と比較	▲46	▲100	▲62	▲23
	7月～9月の見通し	▲42	▲67	▲38	▲36
収益	1月～3月と比較	▲37	▲67	▲62	▲14
	7月～9月の見通し	▲32	▲67	▲38	▲18
販売価格	1月～3月と比較	0	▲33	0	9
	7月～9月の見通し	▲5	▲33	0	0
仕入価格	1月～3月と比較	10	▲33	15	18
	7月～9月の見通し	2	▲17	0	9
在庫	1月～3月と比較	0	50	0	▲14
	7月～9月の見通し	▲7	17	▲8	▲14
資金繰	1月～3月と比較	▲27	▲50	▲39	▲14
	7月～9月の見通し	▲27	▲33	▲39	▲18

## 概況

調査先建設業全体の業況を前年同期（20年4～6月）と比較してみますと、売上で「増加」した先17%、「変わらず」の先40%、「減少」した先43%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲26となり、前回調査より6ポイント悪化しました。

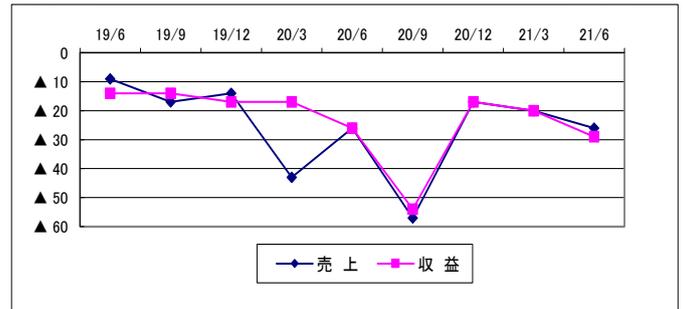
収益は「増加」した先14%、「変わらず」の先43%、「減少」した先43%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲29となり、前回調査より9ポイント悪化しました。

調査回答数（前年同期比）

		増加	変わらず	減少	D I 値
売上	前回(21/3)	8	12	15	▲20
	今回(21/6)	6	14	15	▲26
収益	前回(21/3)	6	16	13	▲20
	今回(21/6)	5	15	15	▲29

前年同期比

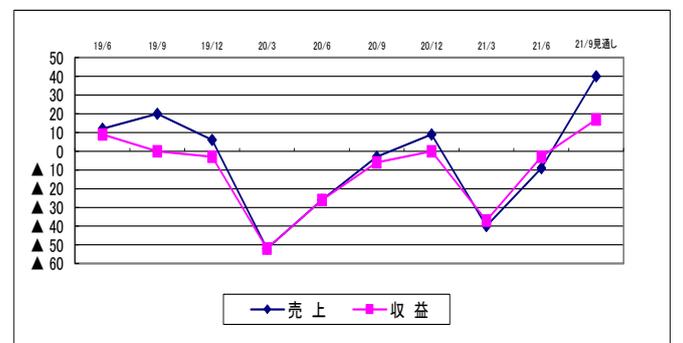
D I 値図表



調査時期	19/6	19/9	19/12	20/3	20/6	20/9	20/12	21/3	21/6
売上	▲9	▲17	▲14	▲43	▲26	▲57	▲17	▲20	▲26
収益	▲14	▲14	▲17	▲17	▲26	▲54	▲17	▲20	▲29

直前3ヵ月比

D I 値図表



調査時期	19/6	19/9	19/12	20/3	20/6	20/9	20/12	21/3	21/6	21/9見通し
売上	12	20	6	▲52	▲26	▲3	9	▲40	▲9	40
収益	9	0	▲3	▲52	▲26	▲6	0	▲37	▲3	17

## 動向

### 【前年同期との比較】

売上・収益ともに悪化しました。

内訳のD I 値の推移は以下のようになっています。

- ・ 土木売上：前回 17→今回▲25
- ・ 同 収益：前回 8→今回▲33
- ・ 建築売上：前回▲56→今回▲19
- ・ 同 収益：前回▲50→今回▲25

### 【直前3ヵ月との比較】

売上・収益ともに改善しました。

### 【今後3ヵ月の見通し】

売上・収益ともに改善の見通しです。

調査員のコメントには、「木材不足により資材仕入原価が上昇中。その中、大手企業が大量に仕入れをしており、中小企業にとっては材料確保が困難となっている」、「従業員の高齢化に伴い、作業効率が低下している」といったものがありました。

直前3ヵ月比調査の業種別状況(DI値による) (%)

項目		全体	土木	建築	その他
売上額	1月～3月と比較	▲9	▲8	6	▲43
	7月～9月の見通し	40	50	38	29
施工高	1月～3月と比較	▲6	▲17	19	▲43
	7月～9月の見通し	40	50	38	29
収益	1月～3月と比較	▲3	▲8	6	▲14
	7月～9月の見通し	17	17	19	14
請負価格	1月～3月と比較	3	▲17	19	0
	7月～9月の見通し	9	17	6	0
材料価格	1月～3月と比較	51	33	69	43
	7月～9月の見通し	54	33	69	57
在庫	1月～3月と比較	▲6	▲8	▲6	0
	7月～9月の見通し	▲3	▲8	0	0
資金繰	1月～3月と比較	▲3	17	▲6	▲29
	7月～9月の見通し	▲3	17	▲6	▲29

## 概況

調査先サービス業全体の業況を前年同期(20年4~6月)と比較してみますと、売上で「増加」した先14%、「変わらず」の先30%、「減少」した先56%で、そのDI値(増加割合-減少割合)は▲42となり、前回調査より10ポイント改善しました。

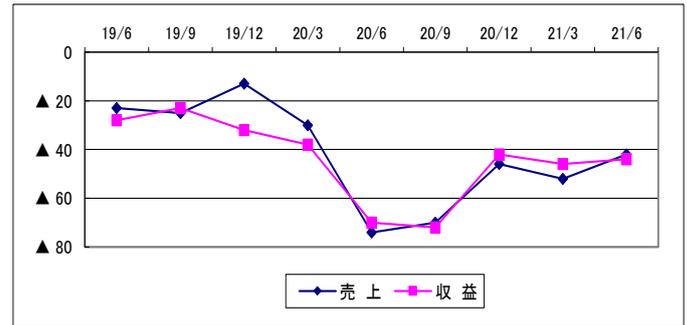
収益は「増加」した先12%、「変わらず」の先32%、「減少」した先56%で、そのDI値(増加割合-減少割合)は▲44となり、前回調査より2ポイント改善しました。

### 調査回答数(前年同期比)

		増加	変わらず	減少	DI値
売上	前回(21/3)	6	13	33	▲52
	今回(21/6)	7	16	29	▲42
収益	前回(21/3)	7	14	31	▲46
	今回(21/6)	6	17	29	▲44

前年同期比

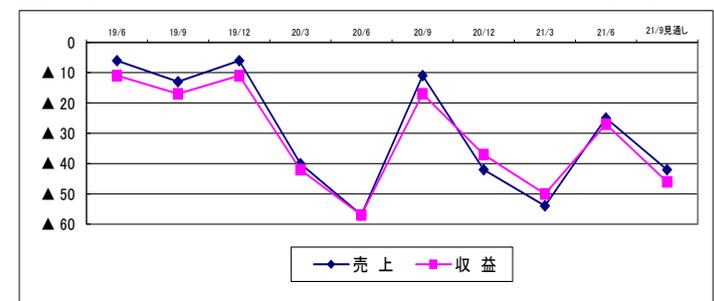
DI値図表



調査時期	19/6	19/9	19/12	20/3	20/6	20/9	20/12	21/3	21/6
売上	▲23	▲25	▲13	▲30	▲74	▲70	▲46	▲52	▲42
収益	▲28	▲23	▲32	▲38	▲70	▲72	▲42	▲46	▲44

直前3ヵ月比

DI値図表



調査時期	19/6	19/9	19/12	20/3	20/6	20/9	20/12	21/3	21/6	21/9見通し
売上	▲6	▲13	▲6	▲40	▲57	▲11	▲42	▲54	▲25	▲42
収益	▲11	▲17	▲11	▲42	▲57	▲17	▲37	▲50	▲27	▲46

## 動向

### 【前年同期との比較】

売上・収益ともに改善しました。

内訳をみますと、車両関係は悪化しています。

### 【直前3ヵ月との比較】

売上・収益ともに改善しました。

### 【今後3ヵ月の見通し】

売上・収益ともに悪化の見通しです。

調査員のコメントには、「人手が不足しており、若手の育成が進んでおらず、技術の継承に不安がある」、「コロナ禍にあって、顧客数に大きな増減はないものの、来店頻度が低下している」といったものがありました。

直前3ヵ月比調査の業種別状況(DI値による) (%)

項目		全体	理容美容	車両関係	その他
売上額	1月~3月と比較	▲25	▲45	▲33	▲14
	7月~9月の見通し	▲42	▲44	▲53	▲36
収益	1月~3月と比較	▲27	▲45	▲27	▲21
	7月~9月の見通し	▲46	▲44	▲53	▲43
料金価格	1月~3月と比較	▲4	▲11	7	▲7
	7月~9月の見通し	▲4	▲11	0	▲4
材料価格	1月~3月と比較	23	0	47	18
	7月~9月の見通し	14	0	33	7
資金繰	1月~3月と比較	▲23	▲33	▲27	▲18
	7月~9月の見通し	▲29	▲33	▲33	▲25

経営上の問題点 【複数回答】

	1位	2位	3位
製造業	売上の停滞・減少 41.9%	利幅の縮小 38.7%	原材料高 38.7%
卸売業	売上の停滞・減少 54.5%	同業者間の競争の激化 36.4%	利幅の縮小 27.3%
小売業	売上の停滞・減少 65.9%	商圏人口の減少 31.7%	同業者間の競争の激化 22.0%
建設業	人手不足 57.1%	材料価格の上昇 57.1%	売上の停滞・減少 48.6%
サービス業	売上の停滞・減少 59.6%	人手不足 25.0%	取引先の減少 23.1%

経営施策 【複数回答】

	1位	2位	3位
製造業	経費を節減する 58.1%	販路を広げる 45.2%	新製品・技術を開発する 38.7%
卸売業	販路を広げる 45.5%	経費を節減する 45.5%	情報力を強化する 40.9%
小売業	経費を節減する 56.1%	売れ筋商品を取扱う 31.7%	品揃えを改善する 22.0%
建設業	人材を確保する 57.1%	経費を節減する 45.7%	情報力を強化する 42.9%
サービス業	経費を節減する 46.2%	販路を広げる 32.7%	技術力を強化する 26.9%

【調査要領】

1. 調査地域 北見地方1市4町（北見市、置戸町、訓子府町、美幌町、津別町）
2. 調査時点 2021年 6月  
2021年 4月～ 6月期の実績および見込み  
2021年 7月～ 9月期の見通し
3. 調査対象企業 当金庫お取引先181社（任意抽出）  
回答企業数 181社  
回答率 100%
4. 調査方法 調査表による訪問聞き取り調査  
調査表は信金中央金庫が実施する「全国中小企業景気動向調査」と同一のものを使用
5. 業種別回答企業数

製造業	卸売業	小売業	建設業	サービス業	合計
31	22	41	35	52	181

6. 分析方法 各質問項目を100分比に換算し、パーセント（%）数値による分析を行いました。また、好転か悪化の傾向をみる方法として、「増加割合－減少割合＝判断指数（DI値）」で分析を行いました。

## 「新型コロナウイルス肺炎対応 金融相談窓口」の設置について

さまざまな業種のお客さまに、新型コロナウイルス感染症の影響が拡大しております。当金庫では、下記のサテライト店を除く本支店窓口に「新型コロナウイルス肺炎対応金融相談窓口」を設置しております。各種経営相談や、円滑な資金供給を通じて地域をサポートいたします。

### サテライト店（相談窓口を設置していません）

温根湯支店、相内支店、ことぶき支店、南大通支店【北見市】  
南支店、しらかば支店【帯広市】  
南が丘支店【紋別市】

本店営業部では**日曜日**もご相談を承っております。

### オホーツク圏経済情勢報告（令和3年1～3月期）概況

	前回（3年2月発表）	今回（3年5月発表）	前回比較	総括判断の要点
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている 【判断の据え置きは、令和2年4-6月期以来、3期ぶり】	⇒	個人消費は、感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。一方、観光は、感染の再拡大により、弱い動きとなっている。また、雇用は、感染症の影響により、弱い動きが続いている。
	前回（3年2月発表）	今回（3年5月発表）	前回比較	
個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響により一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	⇒	
観光	新型コロナウイルス感染症の影響により、足下では弱い動きとなっている	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている	⇒	
雇用	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている	⇒	
公共事業	前年を下回る	前年を下回る	⇒	
住宅着工	前年を上回る	前年を上回る	⇒	
先行き	感染拡大の防止策を講じつつ、持ち直しに向かうことが期待される。ただし、緊急事態宣言発出に伴う経済活動への影響をはじめ、感染拡大による地域経済の下振れリスクの高まりに十分注意する必要がある。			